

令和 8 年度  
学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業  
(ユニバーサル公演)

# 実施校募集要領



令和 7 年 1 2 月  
文化庁参事官（芸術文化担当）付 学校芸術教育室

応募に当たっての重要事項が書かれていますので、必ず熟読してください。  
この募集は、事業実施スケジュールの都合上、前年度に行うものです。予算編成等の状況によっては、事業の中止、内容の変更や規模の縮小、スケジュールの遅れが生じる場合がありますので、予めご了承ください。

## 目次

1	応募から実施までの流れ	P. 1
2	事業概要	P. 2～4
3	実施団体・企画一覧	P. 5～7
4	応募方法	P. 8～9
5	応募書類の記入方法について	P. 10～14
6	Q&A	P. 15～16

### 学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業事務局 ユニバーサル公演 係

近畿日本ツーリスト株式会社 コーポレートビジネス支社 公務営業支店内  
〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-13 住友商事神田和泉町ビル13階

TEL : 0570-064-203 (プッシュ⑥)

Email : [uni8-kodomogeijutsu@or.kntct.com](mailto:uni8-kodomogeijutsu@or.kntct.com)

※ 開局時間 : 10:00～17:00 (平日)

▶ 学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業専用ウェブサイト  
URL : <https://www.kodomogeijutsu.go.jp>

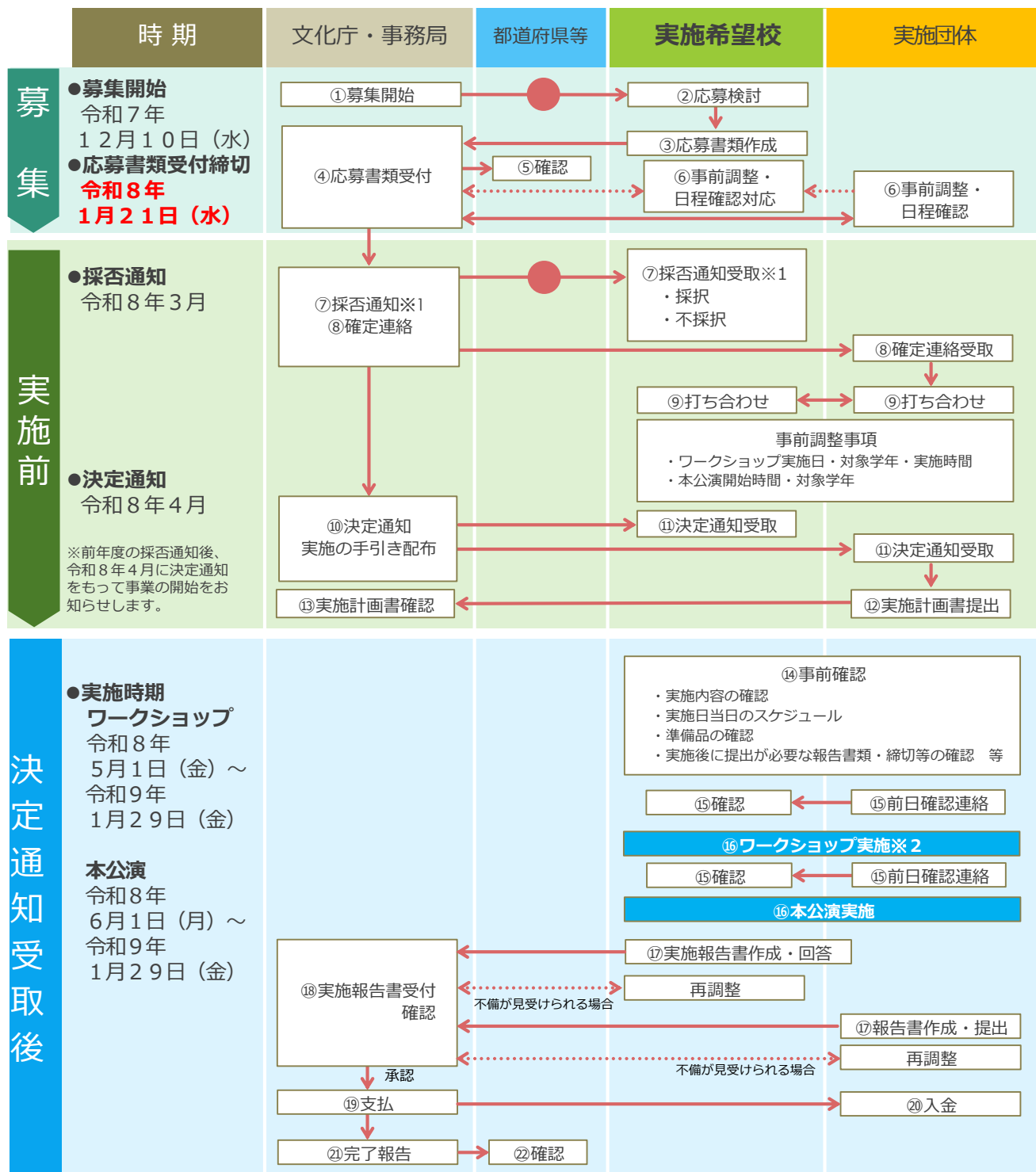


ホームページはこちら

※ 令和7年度における本事業事務局業務は、近畿日本ツーリスト株式会社に委託して実施しています。

# 1 応募から実施までの流れ

応募から実施報告の回答までが事業全体の流れです。  
採択となった場合には、実施後まで一連の手続きをご対応いただくこととなります。  
応募年度から新年度への引継ぎも含めた事務体制をご調整の上、ご応募くださいますようお願いいたします。



※1 応募校に採否通知を行います。

※2 ワークショップの標準実施回数等は、応募する企画により異なります。

- 提出、連絡等の手続の流れを示します。
- 状況により手続が発生することがあります。
- 矢印の間に左記のマークが挟まる場合は、該当の部署を経由します。

## 1. 事業の趣旨

学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業は、小学校・中学校等に文化芸術団体又は個人や少人数の芸術家を派遣し、子供たちに対し質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、芸術家による表現手法を用いた計画的・継続的なワークショップ等を実施する事業です。子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養うとともに、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造につなげることを目的としています。

ユニバーサル公演を設置することで、障害の有無にかかわらず、子供たちが文化芸術に触れ、親しむことができる機会を確保し、子供たちの多様な成長につなげるとともに、文化芸術を通して表現の多様性を認識し、障害への理解を深めることを目指します。

## 2. 事業実施方法

「令和8年度学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業（ユニバーサル公演）実施団体募集」において採択を受けた芸術団体が、小学校・中学校・義務教育学校・中等教育学校（前期課程）・特別支援学校（小学部・中学部・高等部）等へ赴き、子供たちがより身近に芸術に触れ、表現の多様性を体感する機会を提供します。

### < ユニバーサル公演の取り組み >

- ① 字幕や音声ガイド等を設置するだけでなく、障害のある子供たちも主体的に芸術を鑑賞・体験ができるよう工夫された取り組み（全団体共通）
- ② 障害のある芸術家が活躍する取り組み（全団体が該当するわけではありません）

### < 企画の区分 >

#### Pタイプ

##### 公演をメインプログラムとする企画

想定する規模：原則として1校当たり本公演1回、ワークショップ3回まで

#### Wタイプ

##### 連続した内容や小規模での活動等を通して実演や作品の鑑賞・体験機会を提供する企画

想定する規模：原則として1校当たりワークショップ5回まで

※ ワークショップの一環として実演を披露するものを含みます。

#### Pタイプ 公演をメインプログラムとする企画

本公演1回、ワークショップ3回まで



##### ワークショップ3回まで

- 例）・個々の理解度に合わせて本公演の導入となるよう、かみ砕いて説明  
・本公演を受けてフォローアップ



メインとなる本公演1回

#### Wタイプ 連続した内容や近い距離での公演等を通して実演や作品の鑑賞・体験機会を提供する企画

ワークショップ5回まで  
※ワークショップの一環での実演披露を含む

- 例① 連続した内容を実施  
＜ホップ→ステップ→ジャンプ＞

同じ対象者に  
ステップ5まで



- 例② 近い距離での公演を実施  
＜クラスごとに教室等で実施＞

違う対象者に  
5回まで



### 3. 対象

小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校（前期課程）、特別支援学校（小学部・中学部・高等部）を対象とします。

- ※ 実施校の採択においては、応募校のうち、ユニバーサル公演において直近2年間採択のない学校を優先することとします。
- ※ 小・中学校等において実施する際、特別支援学級の児童・生徒を鑑賞・体験させない事例が見受けられますが、事業の趣旨をご理解いただき、特別支援学級の児童・生徒は必ず鑑賞・体験できる体制を整えてください。

### 4. 対象となる派遣分野

音楽、演劇、舞踊、伝統芸能、メディア芸術 等

### 5. 実施方法

#### 1. 実施期間

（1）ワークショップ：令和8年5月1日（金）から令和9年1月29日（金）まで

（2）本公演：令和8年6月1日（月）から令和9年1月29日（金）まで

- ※ 国会の予算審議の状況により、実施開始が遅れる場合があります。
- ※ 採択を受けた場合、採否通知時に本公演実施予定日をお知らせします。ワークショップの具体的な実施日程については、実施団体と学校間において調整を行うものとします。
- ※ 昨今の酷暑や厳寒を考慮し、体育館の空調設備等、学校として児童・生徒の安全を確保することが難しい場合を除き、実施時期を十分にご検討いただき、原則夏季・冬季の実施についてはできるだけ回避してください。なお、他の時期の実施がどうしても難しい場合は、団体において可能な範囲で対応する場合がございます。

#### 2. 実施時程

**本事業は教育課程上の授業において実施するものです。**

そのため、部活動やクラブ活動等での実施は対象外です。

#### 3. 実施回数

**原則1校につき1企画**

**Pタイプ**

本公演1回、ワークショップ3回まで

**Wタイプ**

ワークショップ5回まで

#### 4. 実施時間

**応募する企画の出演希望調書内に記載する実施時間の範囲内で行うものとします。**

- ※ ただし、Pタイプ、Wタイプともに特別支援学校等の実施に際しては、児童・生徒等の状況に応じ、標準実施時間の範囲内でワークショップの回数や実施時間を調整して対応することが可能です。
- ※ 「4. 対象となる派遣分野」に該当する活動は、国語、社会、音楽等の教科や総合的な学習の時間など、教育課程上の授業時間に位置づけて実施することとします。

## 5. 実施会場

**実施会場は、原則として実施校の施設とします。**

※ ただし、複数の学校が合同で実施する場合や全校児童・生徒を収容できる施設がない場合等には、文化施設等適切な施設で実施することができます。この場合の経費は、児童・生徒の移動費を除き、学校又は共催者の負担となります。

## 6. 被派遣者

**6ページ～7ページに記載する公演団体・企画一覧のうち、応募校の希望と実施日程や条件が一致した公演団体（第1希望～第3希望のうちいずれか1企画）**

**※ 必ず第3希望まで記入してください。**

## 7. 主催者

主催者及び共催者は次のとおりですが、必要に応じて会場の管理者、市区町村、市区町村教育委員会を「地元共催者」として加えることができます。

**[主催者] 文化庁**

**[共催者] 都道府県、都道府県教育委員会、政令指定都市、政令指定都市教育委員会のいずれか又は複数及び実施校**

※ 以下、共催者及び文化庁が認める共催者（会場の管理者、市区町村、市区町村教育委員会）をあわせて「地元共催者」と表記します。

## 8. 経費

**次の「文化庁負担経費」部分を文化庁が負担します。**

本事業は、限られた予算内で行うものであり、各実施団体は採択された企画の範囲内において各実施校における対応を検討します。したがって、企画の範囲内で実施を行う場合は、地元共催者における費用負担は発生しませんが、企画の範囲を超えた対応が生じる場合（複数回実施等）は、地元共催者側が負担することとします。

文化庁負担経費	地元共催者負担経費
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 公演に直接係る経費（出演料、公演料等）及び公演団体が会場へ移動する旅費・運搬費</li> <li>■ 児童・生徒が実施会場に移動する場合の経費（バス借上料、公共交通機関運賃等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学校の施設設備の使用及び条件整備に係る経費（光熱水料、<b>ピアノ移動費・調律費</b>、暗幕設置費用等）</li> <li>■ 文化施設を利用する際の使用に係る経費（会場借損料（付帯設備費等含む））</li> <li>■ 飲食料（弁当代、お茶代）</li> <li>■ 記念品代、花束代</li> </ul>

※ 児童・生徒が実施会場に移動する場合は、決定通知後に実施校が事務局（令和8年度事務局受託業者）へ指定の様式を用いて事前申請を行い、承認を得た上で、手配することとします。移動に係るバスの借上料や、公共交通機関運賃等については、実施後に、事務局（令和8年度事務局受託業者）から対応した会社等へ直接支払います。（地元共催者が立替払を行った場合は、立替払支出者へその代金を支払います。）



## 実施団体・企画一覧について

※ 実施内容やプログラム構成は企画により異なりますので、応募に当たっては以下URLより、必ず各団体の出演希望調書についても確認してください。

＜各出演希望調書及び実施条件一覧の掲出先＞

[https://www.kodomogeijutsu.go.jp/r8/universal\\_program.html](https://www.kodomogeijutsu.go.jp/r8/universal_program.html)

### 1. 「公演団体」と「制作団体」の違い

- 「公演団体」は実際に学校へお伺いする団体（実際に実演をする芸術家のグループ）の名称です。「制作団体」は公演等の実施に当たり、学校との調整や実施に向けての準備、事業に関する事務手続などを行う団体の名称、または団体が手続等を行う上での正式名称です。
- 一覧では、公演団体と制作団体が同一の組織である場合も「制作団体」に団体の正式名、「公演団体」に公演時の略称を表記しています。

### 2. 実施可能地域について

出演者等の健康上の理由から、実施可能地域について制限がある場合があります。応募に当たっては、各実施団体の出演希望調書内「実施可能地域」についても必ずご確認ください。なお、県境など地域によっては、「実施可能地域」に記載されている地域以外であっても実施が可能な場合もありますが、できる限り、実施希望企画第1希望～第3希望までに対象地域内の企画を1つ以上含めていただけるようお願いいたします。

### 3. 取り組みについて

- ① 字幕や音声ガイダンス等を設置するだけでなく、障害のある子供たちも主体的に芸術を鑑賞・体験ができるよう工夫された取り組み（全団体共通）
- ② 障害のある芸術家が活躍する取り組み（全団体が該当するわけではありません）

ID	制作団体名／公演団体名	企画名
UNI8_01	制作団体：特定非営利活動法人みんなのこば 公演団体：NPOみんなのこば	参加型クラシックコンサート＆ワークショップ
UNI8_02	制作団体：株式会社アーティフィニティ 公演団体：アンサンブル・アーティフィニティ	中川賢一と田畑真希の「音とリズムであそぼう！」
UNI8_03	制作団体：株式会社ハイリー 公演団体：SUPERONLY	みんなでつくろう からだあそびダンス
UNI8_04	制作団体：一般財団法人オペラアーツ振興財団 公演団体：有限会社アーツ・カンパニー	童話オペラ「泣いた赤鬼」（参加型）
UNI8_05	制作団体：一般社団法人IROHAMO 公演団体：音楽ワークショップ・アーティスト おとみづ	おとみづと音の旅～ココおどる！世界の音楽～
UNI8_06	制作団体：株式会社ノジスタジオ 公演団体：Smile Music	Smile Music～みんなでシェアする音のコミュニケーション♪ ワークショップ＆コンサート
UNI8_07	制作団体：公益財団法人現代人形劇センター 公演団体：デフ・パペットシアター・ひとみ	ろう者と聴者の人形劇「河の童・かわのわっぱ」
UNI8_08	制作団体：有限会社 想起 公演団体：スーパーバントマイムシアター-SOUKI	スーパーバントマイムシアター-SOUKI [MIME BOX]
UNI8_09	制作団体：株式会社 東京演劇集団 風 公演団体：東京演劇集団 風	感性と心を解き放つ！みんなでひびき合う「バリアフリー演劇」
UNI8_10	制作団体：公益財団法人スターダンサーズ・バレエ団 公演団体：スターダンサーズ・バレエ団	ユニバーサル公演 楽しいバレエ「迷子の青虫さん」
UNI8_11	制作団体：株式会社オフィスパフォーマンススラボ 公演団体：TEAMパフォーマンススラボ	クワンサーカス ～うまくいかなくても、みんなでやれば大成功！～
UNI8_12	制作団体：一般社団法人 音楽芸術協会 公演団体：和太鼓グループ彩 -sai- with 山中裕貴	見て、聴いて、感じる、みんなで奏でる「和太鼓」の 芸術鑑賞会
UNI8_13	制作団体：株式会社アンエンターテインメント 公演団体：大蔵流狂言	身体で感じる伝統芸能「大蔵流子ども狂言」
UNI8_14	制作団体：社会福祉法人 南高愛隣会 公演団体：瑞宝太鼓	「生きた音を感じ、心とからだで響き合う」 瑞宝太鼓交流公演
UNI8_15	制作団体：株式会社CHURA 公演団体：一般社団法人沖縄歌舞劇団美	琉球舞踊で物語「太陽(ていだ)の花」 ～琉球王国時代にタイムスリップ!?～
UNI8_16	制作団体：社会福祉法人トット基金 公演団体：日本ろう者劇団	聞こえない人も、聞こえる人も。～手話狂言「附子」～

※ なお、実施内容やプログラム構成は企画により異なりますので、応募に当たっては 次のURLより、必ず各団体の出演希望調書についても確認してください。

掲出先：[https://www.kodomogeijutsu.go.jp/r8/universal\\_program.html](https://www.kodomogeijutsu.go.jp/r8/universal_program.html)



# 3 実施団体・企画一覧

ID	取り組み	提出区分	ワークショップ 実施回数	実施可能期間	体験可能人数（目安）	
					ワークショップ	本公演
UNI8_01	①	Wタイプ	5回	2026/6/1～2027/1/29	30～100名程度	30～100名程度
UNI8_02	①	Wタイプ	3回	2026/6/1～2027/1/29	30名	30名
UNI8_03	①	Wタイプ	3回	2026/6/1～2027/1/29	40名	40名
UNI8_04	①	Pタイプ	1回	2026/6/29～2026/07/24 2026/10/5～2026/10/23 2026/11/2～2026/11/20 2026/12/14～2026/12/24 2027/1/5～2027/1/29	80名	720名
UNI8_05	①	Pタイプ	3回	2026/6/1～2027/1/29	Aは20名程度 Bは40名以内 ※Aは2回、Bは3回まで	普通校～500程度 特別支援学校～300程度
UNI8_06	①	Pタイプ	2回	2026/6/1～2026/6/12 2026/6/25～2026/7/3 2026/9/27～2026/10/19 2026/11/1～2026/12/1 2026/12/16～2026/12/26 2027/1/5～2027/1/29	少人数～50名	少人数～多数（応相談）
UNI8_07	① ②	Pタイプ	1回	2026年6月～2026年7月 2026年9月～2026年12月	30人程度	200人程度
UNI8_08	① ②	Pタイプ	2回	2026/6/1～2027/1/29	40名程度	500名
UNI8_09	①	Pタイプ	3回	2026/6/1～2026/11/6 2027/1/12～2027/1/29	全校児童生徒	全校児童生徒
UNI8_10	① ②	Pタイプ	1回	2026/6/2～2026/6/19 2026/9/1～2026/10/16 2026/11/10～2026/11/20 2026/12/8～2026/12/18	約50人	収容可能人数
UNI8_11	①	Pタイプ	1回	2026/6/1～2027/1/29	10～50人程度	制限なし
UNI8_12	① ②	Pタイプ	3回	2026/6/1～2027/1/29	20名	500名
UNI8_13	①	Pタイプ	2回	2026/6/1～2027/1/29	100名	600名
UNI8_14	① ②	Pタイプ	2回	2026/6/1～2027/1/29	35名	500名
UNI8_15	①	Pタイプ	2回	2026/6/1～2027/1/29	通常（26～30名） 全校生徒対応可能	約500名
UNI8_16	① ②	Pタイプ	3回	2026/6/1～2027/1/29	200名	500名

## 1. 提出が必要な書類

## ■ 実施希望調書（様式1-1 基本調書、様式1-2 実施可能日程調査票）

※ Excel形式のまま提出してください。

※ データは様式1-1 基本調書と様式1-2 実施可能日程調査票が一連となった状態で、データを分けずにご提出ください。

➤ 様式掲出先URL :

<https://www.kodomogeijutsu.go.jp/r8/universal.html>

## 2. 書類提出先

➤ 学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業 学校申請システムURL :

<https://rsms.co3.co.jp/bunka/Login>

※ 上記システムより、応募書類を登録してください。

※ システムの利用方法については、以下のURLよりシステムマニュアルを取得の上、参照してください。

➤ 掲出先URL :

<https://www.kodomogeijutsu.go.jp/r8/universal.html>

## ● 提出方法・システムに関するお問い合わせ

TEL : 0570-064-176

※10:00~17:00（平日）

## ● 事業内容に関するお問い合わせ

TEL : 0570-064-203 （プッシュ⑥）

E-mail : [uni8-kodomogeijutsu@or.kntct.com](mailto:uni8-kodomogeijutsu@or.kntct.com)

※10:00~17:00（平日）

## 3. 提出期限

**令和8年1月21日（水）23時59分 ※厳守**

※ いかなる理由であっても、上記期限に間に合わない応募は受理いたしませんので予めご了承ください。

## 4. 応募に当たっての留意事項

- この募集は、事業実施スケジュールの都合上、前年度に行うものです。予算編成等の状況によっては事業の中止、内容の変更や規模の縮小、スケジュールの遅れが生じる場合がありますので、予めご了承ください。
- 実施校の調整段階（採否検討段階）では、原則学校の実施可能日程調査票により実施可否を検討します。このため、採否通知を受け取るまでは、実施可能日程の予定を空けておくようお願いいたします。応募時点において、実施可否が不確定な日程は「○」を選択されないようご留意ください。

また、団体側の行程や他の採択候補校等との兼ね合いがあり、提示いただいた実施可能日程に添えない場合もあります。この場合は実施可能日の再確認を行うことがあります。

- 実施校決定後は、原則として本事業の延期・中止は認められませんので、応募に当たっては十分にご検討ください。
- 学校応募締切後から採否検討段階において、場合によっては、制作団体や事務局等より事前日程確認及び実施条件確認（ご提出いただいた実施希望調書に係る事前の確認や調整）が入ることがございますが、本連絡があった場合においても、必ずしも採択がお約束されるものではありませんので、十分ご注意ください。
- 採択を受けた場合でも、経費発生を伴う準備（文化施設又は合同開催校等で実施する場合に係る会場までの移動用バスや会場及び付帯設備の手配等）については決定通知受取後でないと認められません。決定通知の発出は令和8年4月を予定しています。事業開始前（決定通知前）に生じた費用の計上は認められません。
- 応募年度の担当者と令和8年度4月からの担当者が異なる場合は、必ず学校内で引継ぎを行ってください。

## 5. 採否通知について

- 実施の採否については、ユニバーサル公演全体の採否内容が整った後に「学校申請システム」にてお知らせいたします。
- 実施の確定及び開始については、令和8年4月以降（令和8年度事業開始後）に「決定通知」をもってお知らせします。

## 6. 採択後の手続について

### ■ 事業実施前

採否通知受取後、事務局（令和8年度事務局受託者）からの案内に沿って、制作団体と連絡を取り、実施へ向けた打ち合わせを開始してください。

事業開始の際に、採択後の手続等をまとめた「実施の手引き」を事業専用ウェブサイトに掲載します。

### ■ 事業終了後

事業終了後に、学校側においても実施報告書の作成・回答が必要となります。

» 参考：令和7年度 ユニバーサル公演「実施の手引き」（実施校用）

[https://www.kodomogeijutsu.go.jp/r7/dl/universal/school/r7\\_uni\\_tebiki\\_jisshikou.pdf](https://www.kodomogeijutsu.go.jp/r7/dl/universal/school/r7_uni_tebiki_jisshikou.pdf)

※ 実施報告書の内容については、今後、文化庁の資料として使用する場合やホームページ等で公開することがあるので、予め関係者に承諾を得てください。

重要

※黄色＝手入力

手入力

※オレンジ色は選択式

※水色は自動表示設定

※正しく集計することができなくなってしまうため、行や列の追加、ならびに、セルの結合や解除はしないでください。

様式 1 - 1 実施希望調書（基本調票）

令和 8 年度学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業（ユニバーサル公演）

実施希望調書（基本調書）

1. 応募全体

応募校

入力必須

参加校数

2 校

参加児童・生徒数 ※

358 人

2. 応募校の情報

ふりがな 学校名	まるまるどうりつまるまるしえんがっこう		学校コード	B1*****10						
	〇〇道立〇〇支援学校		TEL	****_*_*_****						
実施会場住所	(都道府県名)	(市町村郡名)	(行政区名)							
	北海道	〇〇町			区					
	〇〇1-23-45									
担当者名	〇山 〇一		連絡可能な曜日・時間帯	月～金	曜 15 : 00 ~ 16 : 00 頃					
E-MAIL	marumaru@***.***.jp									
①参加児童・生徒	小1	4 人	小2	12 人	小3	6 人	小4	8 人	小5	6 人
	小6	12 人	中1		中2		中3			
	支援学級等		2 人	鑑賞予定クラス数		9 クラス				
			【支援学級等のクラスの構成】							
			【備考】 現状、2年生、3年生、6年生に、院内学級の生徒がいます。 〇町立〇小学校は同じ町内にありますが、なかなか交流する機会がありませんでした。今回の応募に当たっては、ぜひ、 〇道立〇〇支援学校と〇〇町立〇〇小学校で一緒に鑑賞し、児童・生徒の交流の機会を作りたいと思い、 合同開催を希望しました。							
②児童・生徒以外	教員	28 人	保護者	50 人	その他	4 人				
①参加児童数	50 人	②参加生徒以外数	82 人	参加予定者計（①+②）		132 人				

合同開催校がある場合は必ず全校分記載

3. 合同開催参加校（応募校以外の参加希望校があれば御入力ください。）

合同開催参加校数

1 校

合同開催希望校 1	学校コード		E1*****29							
	学校名		〇〇町立〇〇小学校							
①参加児童・生徒	小1	45 人	小2	36 人	小3	30 人	小4	45 人	小5	22 人
	小6	45 人	中1		中2		中3			
	支援学級等		3 人	鑑賞予定クラス数		9 クラス				
			【支援学級等のクラスの構成】							
			弱視、知的障がい 【備考】 3年生と6年生に現状登校ができていない生徒が1名ずついます。また合同開催予定校についても複数名いるとのこと。もし、これらの生徒が参加できる方法（例えばリモート参加など）があれば相談したいです。							
②児童・生徒以外	教員		保護者		その他					
参加予定者①	226 人	参加予定者②	0 人	参加予定者計（①+②）		226 人				

合同開催希望校 2	学校コード									
	学校名									
①	小1		小2		小3		小4		小5	
	小6		中1		中2		中3			
	支援学級等			鑑賞予定クラス数						
			【支援学級等のクラスの構成】							
			【備考】							
②児童・生徒以外	教員		保護者		その他					
参加予定者①	0 人	参加予定者②	0 人	参加予定者計（①+②）		0 人				

合同開催校が2校以上ある場合は、データの左側（見出しバー）に表示されている「+」マークを押下すると3校目以降の入力欄が表示されます。

+

**学校コード**

13桁の学校コードを半角英数字で入力します。

※下のアイコンを押下すると、学校コード検索URLへ移動します。

学校コード検索URL  
<https://edu-data.jp/>

自動的に画面が切り替わらない場合は、ブラウザの検索欄に「https://edu-data.jp/」を入力してアクセスしてください。

**「①参加児童生徒数」**

- 「①参加児童・生徒」へは、参加を予定する児童・生徒の人数を記入してください。  
調整に当たっては、実施団体が設定する鑑賞可能人数の目安を参考に、非常時等を想定した場合に会場内の安全が確保できる収容人数を参加人数上限とします。参加人数上限を超える場合は、鑑賞学年等の調整をお願いする場合があります。
- 人数調整の可否については「7. 人数調整の可否について」に必ず回答してください。
- 児童・生徒及び教職員の鑑賞環境及び実施団体が提示する会場条件並びに安全の確保を優先としますが、会場のスペースに余裕がある場合は、保護者や地域住民（幼稚園児、保育園児を含む）が鑑賞に参加することも可能です。

**「3. 合同開催参加校」**

- 単独校での応募の他、合同開催校を組んでの応募が可能です。文化庁では、より多くの児童・生徒に対して文化芸術を鑑賞・体験する機会を提供するため、複数校による合同開催を推奨しています。なお、合同開催校の組み合わせにおいて、応募校を交代して複数件応募することは認められません。
- 合同開催を行う場合も、公演は原則1公演、ワークショップは各企画の「出演希望調書」に示す回数を上限とします。参加校毎に実施を行うということではありませんのでご留意ください。
- 採択を受けた場合、実施会場へ移動する交通費（公共交通機関又は貸切バス等を想定）は別途計上申請をすることができます。

4.実施を希望する企画

- ※ 事業専用ウェブサイト掲出の各団体実施条件を必ずお読みのうえ御選択ください。
- ※ 必ず第3希望まで選択してください。

入力必須

希望順位	第1希望	第2希望	第3希望
団体ID（希望団体のIDを選択）			
公演団体名	〇〇音楽団	〇〇会	劇団〇〇

任意

5.実施を希望する企画の実施条件について満たしていない条件や実施にあたって心配な点等(備考)

- ※ 応募に当たっては、必ず希望する団体の実施条件を確認してください。
- 実施条件は、事業専用ウェブサイト<https://www.kodomogeijutsu.go.jp/>へ掲出しています。
- 実施条件をすべて満たしていないと応募できないもしくは採択されないということではありませんが、採択された場合において、実施団体が実施を行う場合の準備や、実施時の安全に関わる事項であるため、**実施を希望する企画の実施条件等について満たしていない条件や実施に当たって気になる点、心配な点がある場合は、必ず記載してください。**

第一希望			
※強い光の点滅や暗転が苦手な生徒がいます。 ※車両の横づけについて、横づけ可能な駐車スペースがありません。体育館の渡り廊下に仮設の屋根などを設置することで、雨に当たらない経路を確保することは可能です。			
第二希望			
※音楽祭があり、毎年児童・生徒は熱心に取り組んでいます。肢体不自由の生徒や、院内学級の生徒も、楽器体験ができればとても嬉しいです。			
第三希望			
※ワークショップは、〇〇道立〇〇支援学校の4、5、6年生と、〇〇小学校和太鼓クラブに所属している生徒を優先したいと思います。			

入力必須

6.実施希望会場

- ※ 原則として、実施校の教室又は体育館等を会場としますが、複数の学校による合同開催の場合は文化施設等での実施も可とします。ただし、文化施設等を利用する場合の経費(会場借損料(付帯設備を含む))は共催者又は地元共催者が負担する経費となります。

実施予定会場	合同開催校の体育館
① 上記“実施予定会場”には、暑さ・寒さ対策として冷暖房器具、空調機などの設備はありますか	暖房器具のみある
② ①で「冷暖房器具が共にある」以外を回答された場合、ご回答ください。	対応できないので夏季以外の実施を希望する

7.人数調整の可否について

実施調整をする際に、舞台設置に必要な面積との兼ね合いや安全面の観点により、希望する人数全員での鑑賞は難しいと判断する場合があります。この場合、鑑賞人数の調整について検討は可能でしょうか。	人数調整の可否
	可

8.実施可能日

- ※ シートタブから「様式1-2 実施可能期間」シートを選択し、希望団体の実施可能日をもとに**実施可能日**を入力してください。実施団体は複数の学校との実施日程を調整する必要があるため、実施校側が実施日を指定することはできません。そのため、実施可能日は複数日御回答ください。

実施可能日の入力チェック (実施可能日欄を入力済みの場合は右の欄で「実施可能日を入力した」を選択してください。)	実施可能日入力済み
本事業は原則 【D区分】は WS（ワークショップ）：団体企画内容の回数まで、本公演：1回まで 【E区分】は1校あたり連続したワークショップ5回までとなります。各団体、区分ごとに異なります。 上記内容の確認状況について、ご確認いただけましたでしょうか。	確認済み

任意

9.ユニバーサル公演に応募した理由・ねらい（任意回答）

--



令和8年度学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業（ユニバーサル公演）  
実施団体・企画情報一覧掲出先



[https://www.kodomogeijutsu.go.jp/r8/universal\\_program.html](https://www.kodomogeijutsu.go.jp/r8/universal_program.html)

※ 各企画の「出演希望調書」には、プログラムの構成や実施可能日、会場条件等、必ず事前確認が必要な項目が記載されています。

また、これらの条件をまとめた一覧（PDF）を掲出しています。

実施内容やプログラム構成は企画により異なりますので、応募に当たっては、必ず各団体の出演希望調書についても確認してください。

#### 「5. 実施を希望する企画の実施条件について満たしていない条件や実施に当たって心配な点等（備考）」

実施条件をすべて満たしていないと応募できないもしくは採択されないということではありませんが、採択された場合において、実施団体が実施を行う場合の準備や、実施時の安全に関わる事項であるため、**実施を希望する企画の実施条件等については、必ずご確認いただき、満たしていない条件や実施に当たって心配な点がある場合は、できる限り記入してください。**

#### 「8. 実施可能日」

- 実施可能日程調査票の右側に表示されている一覧又は本事業専用ウェブサイトより、実施可能日一覧を取得の上、実施を希望する企画の実施可能日程を確認し、各企画の実施可能日における学校側の実施の可否を「応募校の予定」欄に入力してください。
- 回答後に左の「8. 実施可能日」欄において「実施可能日入力済み」を選択してください。
- 実施可能日の入力については14ページをご参照ください。

様式 1 - 2 実施希望調書 (実施可能日程調査票)

実施校の予定をご入力ください。

※黄色 = 手入力

※オレンジ色は選択式

可能日は○を選択	午前	午後	前日仕込みの可否	備考
5月上旬※実施はWSのみ				
5月中旬※実施はWSのみ				
5月下旬※実施はWSのみ				
6月上旬				
6月中旬				
6月下旬				
7月上旬※夏季休暇除く				
7月中旬※夏季休暇除く				
7月下旬※夏季休暇除く				
8月上旬※夏季休暇除く				
8月中旬※夏季休暇除く				
8月下旬※夏季休暇除く				
9月上旬				
9月中旬				
9月下旬				
10月上旬				
10月中旬				
10月下旬				
11月上旬				
11月中旬				
11月下旬				
12月上旬※冬期休暇除く				
12月中旬※冬期休暇除く				
12月下旬※冬期休暇除く				
1月上旬※冬期休暇除く				
1月中旬※冬期休暇除く				
1月下旬※冬期休暇除く				

②

③

④

第3希望

第1希望

第2希望

⑤	UNI8_101	UNI8_102	UNI8_103	UNI8_104	UNI8_105
劇団○○	○○音楽団	○○会	○○シアター	○○バレエ団	
前日仕込みの有無	あり	なし	なし	なし	なし
5月上旬※実施はWSのみ		○	○		○
5月中旬※実施はWSのみ	○	○	○		○
5月下旬※実施はWSのみ	○	○	○		○
6月上旬	○		○	○	○
6月中旬	○		○	○	○
6月下旬	○		○	○	○
7月上旬※夏季休暇除く		○	○	○	○
7月中旬※夏季休暇除く		○	○	○	○
7月下旬※夏季休暇除く		○	○	○	○
8月上旬※夏季休暇除く	○		○	○	○
8月中旬※夏季休暇除く	○		○	○	○
8月下旬※夏季休暇除く	○		○	○	○
9月上旬	○		○	○	○
9月中旬	○		○	○	○
9月下旬	○		○	○	○
10月上旬	○		○		○
10月中旬	○	○	○		○
10月下旬	○	○	○		○
11月上旬	○	○	○	○	○
11月中旬	○	○	○	○	○
11月下旬	○	○	○	○	○
12月上旬※冬期休暇除く		○	○	○	○
12月中旬※冬期休暇除く		○	○	○	○
12月下旬※冬期休暇除く		○	○	○	○
1月上旬※冬期休暇除く	○	○		○	○
1月中旬※冬期休暇除く	○			○	○
1月下旬※冬期休暇除く	○	○		○	○

①

### 入力必須

- 【様式 1 - 1】実施希望調書（基本調書）で選択した、第1希望～第3希望の団体の実施可能日（上図①）を確認の上、各月上旬（1日～10日）、中旬（11日～20日）、下旬（21日～月末）のうち1日でも実施可能な企画がある日程については、応募校の予定について「午前」「午後」それぞれの実施可否を入力してください（上図②）。目安として午前（8時～12時）、午後（12時～16時）の内、概ね3時間の使用が可能な場合、「○」を選択してください。一部の時間帯が使用不可の場合は、「○」を選択の上、備考欄で使用できない時間帯をご教示ください（上図④）。
- 各団体の「前日仕込みの有無」欄（上図⑤）をご確認いただき、「あり」となっている企画が含まれる場合、実施可能日前日の午後に体育館への舞台装置搬入や設置作業が行えるかの可否をご回答ください（上図③）。
- 実施時間帯について心配なことや、連絡事項がある場合は備考欄へ記入してください。
- 可能な限り、なるべく多くの実施可能日をご回答ください。
- 応募校が実施日を指定することはできません。

**Q.1** 例えば「ユニバーサル公演」と「学校巡回公演」等、複数に併願することはできますか？

**A.1** 併願できます。

**Q.2** 義務教育学校について、前期課程と後期課程がそれぞれ応募することは可能ですか？

**A.2** 義務教育学校については、課程ごとに応募することはできません。

**Q.3** 本校の生徒数は100名以下です。応募はできますか？

**A.3** 応募可能です。また、児童・生徒及び教職員の鑑賞環境及び実施団体が提示する会場条件並びに安全の確保を優先としますが、会場のスペースに余裕がある場合は、保護者や地域住民（幼稚園児、保育園児を含む）が鑑賞に参加することも可能です。

**Q.4** 本校は大規模校です。全員が参加することはできますか？

**A.4** 会場の大きさと鑑賞人数（目安）を確認し、実施可能な企画を選択してください。特に、規模の大きな企画の派遣を希望する場合には、学校の体育館において、フロアの面積から舞台を設置する面積を差し引いたスペースが鑑賞スペースとなりますが、消防法や安全基準等を最優先事項としますので、本公演鑑賞人数（目安）に達しない場合であっても、鑑賞人数の調整をお願いすることがあります。また、19学級以上を設置する学校が複数回公演を要望する場合においては、団体の対応可否判断に基づき、2回公演の実施を行う場合もあります。ただし、複数回公演の決定は、採否又は決定時の判断となります。学校が希望した場合も必ず認めるということではありません。

**Q.5** 高校生の参加は可能ですか？

**A.5** 特別支援学校の高等部の生徒は参加可能です。高等学校が合同開催校として参加する場合、当該高等学校の生徒は参加可能です。ただし、高等学校や一貫校の高等部が単独で応募することはできません。また、鑑賞人数の調整等をお願いする場合においては、小学校、中学校、特別支援学校（小学部、中学部、高等部）、中等教育学校（前期課程）の児童・生徒を優先とします。

**Q.6** 事業専用ウェブサイトに掲出されている希望団体の実施条件を確認したところ、条件をすべて満たしているかどうか分からない場合でも、応募することは可能ですか？

**A.6** 応募は可能です。ただし、以下をご確認ください。

- ・実施条件をすべて満たしていない場合でも、応募不可や、必ずしも不採択になるわけではありません。
- ・ただし、実施条件は「採択後の準備」や「実施時の安全」に関わる需要事項です。
- ・満たしていない条件や、実施に当たっての懸念・心配な点がある場合は、「様式1-1 実施希望調書（基本調票）」の「5.実施を希望する企画の実施条件について満たしていない条件や実施にあたって心配な点等（備考）」に必ず記載してください。

**Q. 7 採択された場合、会場へ移動する際の交通費に限度額はありますか？**

**A. 7** 交通費に限度額はありません。複数の学校で実施する場合や、全校児童生徒を収容できる施設がない場合に文化施設等で実施する際には、当該児童生徒の交通費を負担します。

交通費は安全に関わる重要な事項であるため、手配にあたっては安全性に配慮し、かつ、できるだけ廉価な価格をお願いします。申請時には、相見積もりの取得をお願いする場合があります。参考までに、過年度の平均金額は、以下の通りです。

- ・ 小型バス 31,460円 ・ 中型バス 33,767円 ・ 大型バス 41,453円
- ・ ジャンボタクシー 2,140円

**Q. 8 本校は通常よりステージ上にピアノを設定しておりますが、本事業において希望した団体がステージを使用する場合、ステージ上にあるピアノの移動に係る費用はどのようなのでしょうか？**

また、調律を行った時期は1年前のため、ピアノの使用が必要になる企画の場合、調律費用の負担はどのようなのでしょうか？

**A. 8** 本事業では、4ページで示しているとおり、学校の施設設備の使用及び条件整備に係る経費（光熱水料、ピアノ移動費・調律費、暗幕設置費用等）については、地元共催者が負担することとなりますので、希望する企画については、その点も含め十分なご検討をお願いいたします。

**Q. 9 本事業へ応募後、採否通知前に公演団体から事日程確認の連絡がありました。本校は採択されたと考えてよいのでしょうか？**

**A. 9** 採否検討段階で、公演団体から事日程確認（提出いただいた実施可能日程調査票に基づく確認や調整）の連絡があっても、採択をお約束するものではありません。

この連絡は、より多くの児童・生徒に本事業を届けるため、巡回効率を踏まえた行程作成などの事前調整を目的としたご連絡となっていますので、その点をご理解ください。

なお、万が一、公演団体より採択を確約するような発言があった場合は、速やかに事務局までご連絡ください。